※令和４年度以降入学生用

学校番号	101

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「保育基礎」　（教育図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

幼児教育コースでの授業となります。将来の保育者・教育者となるための勉強が中心となります。グループ学習や実習も多いので、積極的に主体的に学ぶ態度を身につけてください。

２　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 保育の意義や方法，子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 子どもを取り巻く課題を発見し，保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 子どもの健やかな発達を目指して学び，保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識を身に付けている。 また、子どもと触れ合ったり，子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して，子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもを生み育てることや,家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし,思考を深め，適切に判断し，創意工夫し表現する能力を身に付けている。	子どもの発達や子育て支援について関心をもち,実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの保育	保育の意義	a:　・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・保育における保護者や保育者の役割を理解している。 b:　子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 c:　保育の意義について，自分自身が親や保育者になることを考えるなど，自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	定期考査	提出物	プリント 振り返りシート
		保育の環境 子どもの発達	a:　・家庭での養育と集団保育の役割を理解している。・家庭での子育ての現状と課題、国の子育て支援の内容などについて理解している。・保育所や幼稚園、認定こども園における保育・教育の特徴を理解している。 b:　・現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察することができる。 ・月齢・年齢ごとの子どもの心身の発達の様子を理解した上で、子どもの個人差を考慮した適切なかかわり方を考察し、具体的に提案することができる。 c:　・身近な保育・教育施設について関心をもち、ホームページからその特色を調べるなど自ら情報を収集しようとしている。 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	定期考査	グループワーク レポート	プリント 振り返りシート レポート

※令和４年度以降入学生用

2学期	子どもの生活	子どもの健康と生活	a: 子どもの養護の必要性について理解し、その発達段階に応じた適切な養護や生活援助のための技術を身につけている。 b: 子どもの日常生活における世話の仕方とその役割について理解している。	定期考査	提出物 グループワーク	プリント 振り返りシート
		子どもの食事	a: ・乳幼児期の食生活の特徴や、発達に必要なエネルギー・栄養素などについて理解している。 ・子どもの食生活の特徴に合った料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身につけている。 b: 料理を作る際に、食べやすさや栄養素のバランス、アレルギーに配慮するなど、工夫することができる。 c: 調理に関心をもち、調理実習に積極的に参加している。	定期考査	提出物 実習	プリント 実習レポート 振り返りシート
3学期	子どもの文化	子どもと遊び 子どもの表現活動	a: おもちゃ作りなどの活動を通して、子どもの遊びの特徴や、保育者としての適切なかかわり方を捉えている。 b: 表現活動において、子どもの意欲を引き出すために保育者はどのようにかかわるとよいか、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 c: 保育施設で行われている表現活動に関心をもち、積極的に体験しようとしている	定期考査	作品 グループワーク	プリント 振り返りシート 発表

※令和４年度以降入学生用

	子どもの福祉	児童福祉の理念と法規･制度	a: ・世界・日本の児童観や子どもの福祉の変遷の歴史が、現代のさまざまな法律や制度に生かされていることを理解している。 ・児童福祉の理念と特徴、法律や制度、福祉にかかわる施設の役割について理解している。 b: ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもや保護者を支えることを目標にして積極的に支援策を考えようとしている。 ・保育施設と行政などが連携した子育て支援について関心をもち、自分で情報を収集しようとしている。	定期考査	提出物	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度